

令和6年度行政評価（令和5年度対象）シート

政策 4 便利で快適に暮らせるまちをつくる

施策 401 市街地整備の推進

主担当課：新清洲駅周辺まちづくり課

○施策の目指す姿

駅周辺を中心とする市街地整備が着実に進展し、土地の有効利用が進み、安心して快適な生活基盤がつくられています。

○施策の展開

- 1 名鉄新清洲駅周辺整備の推進
- 2 J R清洲駅周辺整備の推進
- 3 鉄道高架化整備の推進
- 4 春日地区の市街地整備の推進
- 5 地域に応じた市街地整備の検討
- 6 土地利用の見直し等の検討
- 7 地籍調査の実施

○令和6年度 事務事業評価実施事業（令和5年度対象）

- 1 新清洲駅北土地区画整理費
- 2 清洲駅前土地区画整理費
- 3 新清洲駅付近鉄道高架費

Ⅰ 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

○施策の関連データ

新清洲駅北土地区画整理区域内移転済戸数（戸）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	34	40	47	54	54
新清洲駅北土地区画整理区域内整備完了面積（㎡）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	2,100	3,500	3,500	29,473	34,665
鉄道仮線用地（新清洲駅北土地区画整理区域内）累計確保用地面積（㎡）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1,357	1,453	1,453	1,561	1,561

○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 新清洲駅北土地区画整理事業は、平成28年度に仮換地指定を終え、用途地域などの都市計画を変更し、平成30年度より道路、排水路等の基盤整備工事に着手している。
- 清洲駅前土地区画整理事業は、関係地権者などの合意を得て、令和2年度から道水路築造工事を行っていたが、事業行程に遅れが生じており、令和5年6月に事業期間を3年延伸した。
- 鉄道高架事業は、令和元年度より仮線用地の取得に取り組んでおり、令和5年度も引き続き区画整理区域内外の鉄道仮線用地、新清洲駅拡幅に伴う付替市道用地の取得に取り組む。

Ⅱ 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る（見込含む）・・・◎、目標値を達成（見込含む）・・・○、目標値を達成できず（達成困難の見込）・・・▲、現状値を把握していない・・・

達成度指標		基準値	後期計画目標値	実績値			目標値の達成状況
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
市民満足度調査における満足度		28.4% （平成30年度）	↑ （令和5年度）	29.8% （令和3年度）	—	34.2% （令和5年度）	◎
新清洲駅北土地区画整理事業の推進		基盤整備等の進捗 （平成30年度）	換地処分以外の事業完了 （令和5年度）	基盤整備等の進捗 （令和3年度）	基盤整備等の進捗 （令和4年度）	基盤整備等の進捗 （令和5年度）	▲
清洲駅前土地区画整理事業の推進		基盤整備等の進捗 （平成30年度）	事業の完了 （令和6年度）	基盤整備等の進捗 （令和3年度）	基盤整備等の進捗 （令和4年度）	基盤整備等の進捗 （令和5年度）	▲
後期計画期間の達成状況の分析		■新清洲駅北土地区画整理事業は、道路、排水路等の整備工事を実施するとともに、併せて宅地整備を進め、一部仮換地の使用収益開始を行った。また次年度の工事予定エリアにおいて、建物等移転補償を進め、事業の進捗を図ることができた。 ■清洲駅前土地区画整理事業は、建物等移転補償を進め道水路築造工事を行い事業の進捗を図った。しかし、事業工程の遅れにより、事業期間を3年延伸したため、達成状況は目標値を下回っている。					

Ⅲ 令和5年度の主な取組結果

- 【新清洲駅北土地区画整理費】
- 建物等移転補償及び基盤整備工事を実施した。そのうち、基盤整備工事を繰越した。
- 【清洲駅前土地区画整理費】
- 道水路築造工事2件施行、建物移転補償11件を実施した。そのうち、道水路築造工事1件と移転補償1件を繰越した。
- 【新清洲駅付近鉄道高架費】
- 仮線用地の物件調査再算定業務、土地評価時点修正業務、建物移転補償及び用地買収を実施した。
- 新清洲駅拡幅に伴う付替市道用地の物件調査再算定業務、土地評価再評価業務、建物移転補償及び用地買収を実施した。
- 用地買収が完了した一部区間において仮側道整備工事に着工した。

Ⅳ 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名	決算額（千円） [執行率（％）]		活動指標①			活動指標②			
	令和4年度	令和5年度	R5目標値	R5実績値と達成状況		R5目標値	R5実績値と達成状況		
新清洲駅北土地区画整理費	492,124 [63.3]	274,112 [71.1]	区画整理事業の進捗率（全体事業費ベース・％）			移転補償の進捗率（件数ベース・％）			
			96	94	▲	98	98	○	
事業の有効性の評価	本事業を施行することにより、新清洲駅周辺の公共施設の整備と土地利用の効率化を促進し、快適で良好な市街地整備を図ることが出来る。 また、併せて実施する鉄道高架事業に必要なとなる鉄道の仮線、仮駅舎等にかかる用地を確保する必要がある。								
	事業実施にあたり工夫した点								
次年度に整備工事を予定するエリアにおいて建物等補償算定調査、移転対象家屋の補償及び実施設計等を行ない、区域内整備を進めることで事業の進捗を図った。占用物件の移転に不測の日数を要し、年度内の完了が困難となったため、基盤整備工事の一部を繰越したことから、進捗率が目標値を下回った。									
清洲駅前土地区画整理費	131,928 [66.2]	192,990 [99.9]	区画整理事業の進捗率（全体事業費ベース・％）			移転補償の進捗率（件数ベース・％）			
			86	62	▲	100	77	▲	
事業の有効性の評価	都市計画マスタープランにおいて地域拠点としてJR清洲駅が位置付けされており、本事業を進めることにより「駅を中心とした安心・快適・魅力ある都市環境の形成」の実現に寄与することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
埋蔵文化財発掘調査と道路築造工事を並行して進め、工期短縮を図った。 本年度計画していた、権利者との交渉に日数を要し年度内の完了が困難となったことや、事業計画の変更により事業期間の延伸及び資金計画を増額変更したため、進捗率が目標値を下回っている。									
新清洲駅付近鉄道高架費	450,882 [59.5]	623,908 [53.8]	仮線用地（新清洲駅北土地区画整理事業区域内）の当該年度の確保面積（㎡）			仮線用地（新清洲駅北土地区画整理事業区域外）の当該年度の確保面積（㎡）			
			0.00	0.00	－	4,582.48	1,790.46	▲	
事業の有効性の評価	五条川改修事業に伴う名鉄名古屋本線鉄道橋の架け替えに同調して、国道302号、県道名古屋祖父江線の鉄道交差部の一体的な鉄道高架事業を国土交通省、愛知県、稲沢市、清須市が相互協力して実施する。また、本事業を進めることにより、交通渋滞・踏切事故・市街地の分断の解消や治水安全度の向上などに寄与することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
地権者の移転希望時期に合わせて、物件調査、移転補償契約を締結することができた。 区画整理事業区域外の仮線用地確保については、地権者との交渉に不測の日数を要し、年度内の完了が困難となり令和5年度予算を繰越したため、進捗率が目標値を下回った。									

V 施策の評価と今後の方向性

- 新清洲駅北土地区画整理事業は、前年度に引き続き基盤整備工事を実施し、公共施設及び宅地の整備を進めてきた。令和6年度も順次整備を行い、仮線用地を除く全てのエリアの完成を目標とする。また、引き続き地権者との交渉を行い、令和6年度までに全ての物件の移転完了ができるよう進めていく。
- 清洲駅前土地区画整理事業は、前年度に引き続き基盤整備工事を実施し、公共施設及び宅地の整備を進めてきた。今後は、関係地権者と物件移転補償の早期合意に向けて交渉を進めるとともに、計画的に工事が発注できるよう引続き組合を支援していく。
- 新清洲駅付近鉄道高架事業は、仮線用地及び新清洲駅拡幅に伴う付替市道用地において、令和5年度に物件調査再算定業務及び土地評価業務を実施し、物件移転補償及び用地買収を進めてきた。令和6年度も引き続き地権者との交渉を行い、すべての用地を確保できるよう進めるとともに、用地が確保できた区間においては仮側道の整備工事を進めていく。

令和6年度行政評価（令和5年度対象）シート									
政策4 便利で快適に暮らせるまちをつくる									
施策402 道路・橋梁の整備・適正管理の推進				主担当課：土木課					
○施策の目指す姿									
国や県と連携した道路網の整備と、道路・橋梁の計画的な修繕が着実に進展し、道路利用者の利便の増進と安全確保が図られています。									
○施策の展開									
1 道路の適正な管理									
2 道路の計画的な修繕									
3 広域幹線道路・地域内連絡幹線道路の整備									
4 通学路・生活道路の整備									
5 橋梁の予防的・計画的な修繕									
6 橋梁の整備									
○令和6年度 事務事業評価実施事業（令和5年度対象）									
1 道路維持補修費									
2 市道西田中蓮池線等整備費									
3 橋梁維持費									
Ⅰ 施策の関連データ・施策を取り巻く状況									
○施策の関連データ									
市道の道路実延長（km）※清須市調べ（各年度3月31日）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
	355.0	359.5	359.4	359.8	360.6				
道路・橋梁の損傷や劣化に起因する事故発生件数（件）※清須市調べ	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
	1	0	0	5	2				
○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）									
■ 高度経済成長期に集中的に整備された道路の老朽化が進行していることを受けて、平成25年6月に道路法等が一部改正され、予防保全の観点も踏まえて、道路管理者が道路の点検を行うべきことが明確化された。国が定める基準に即して行った点検に基づいて、平成27年3月に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、予防的・計画的な橋梁の修繕を進めている。また、令和4年度末に修繕計画の見直しを行い新たな修繕計画を策定し、今後は5年ごとに計画の見直しを行います。									
■ また、市道の舗装や道路附属物についても、定期的な点検に基づいた修繕計画を策定して、計画的な修繕を進めている。									
Ⅱ 達成度指標の状況									
※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る（見込含む）・・・◎、目標値を達成（見込含む）・・・○、目標値を達成できず（達成困難の見込）・・・▲、現状値を把握していない・・・									
達成度指標		基準値	後期計画目標値	実績値			目標値の達成状況		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度			
市民満足度調査における満足度		29.7% （平成30年度）	↗ （令和5年度）	29.3% （令和3年度）	—	34.9% （令和5年度）	◎		
市内の道路網が充実していると思う市民の割合		43.6% （平成30年度）	↗ （令和5年度）	44.2% （令和3年度）	—	46.3% （令和5年度）	○		
道路・橋梁の損傷や劣化に起因する事故発生件数		0件 （平成30年度）	0件 （令和6年度）	0件 （令和3年度）	5件 （令和4年度）	3件 （令和5年度）	▲		
後期計画期間の達成状況の分析		■ 損傷箇所の早期発見、早期修繕による事故防止に努めたが、道路・橋梁の損傷や劣化に起因する事故発生件数は、2件で目標値を上回ってしまった。事故が発生した場所は、修繕済です。 ■ 引き続き、道路損傷箇所の早期発見を目指して、定期的に道路パトロールを実施し事故防止に努めるが、管理する道路が約360kmあり、十分に目が行き届かない点が課題である。							

Ⅲ 令和5年度の主な取組結果									
【道路維持補修】									
■ 舗装修繕計画に基づき、市道中沼1号線始め7路線の舗装修繕を実施した。									
■ カーブミラー（15箇所）、防護柵（18m）、区画線（3612m）などの交通安全施設の新設・修繕を実施した。									
【市道西田中蓮池線等整備費】									
■ 市道西田中蓮池線について、歩道設置の道路改良を実施した。									
【橋梁維持費】									
■ 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、新川小橋右岸の橋脚補強を実施した。									

Ⅳ 事務事業評価									
※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲									
事業名	決算額（千円） [執行率（%）]		活動指標①			活動指標②			
	令和4年度	令和5年度	R5目標値	R5実績値と達成状況		R5目標値	R5実績値と達成状況		
道路維持補修費	229,904 [99.7]	175,587 [97.3]	市民通報による道路修繕数（件）			修繕計画に基づく道路舗装の修繕延長（m）			
			80	182	◎	2,500	1,551	▲	
事業の有効性の評価	点検に基づく道路舗装等の計画的な修繕や、危険箇所へのカーブミラー・区画線等の整備、道路側溝の修繕などにより、道路利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、道路舗装等の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、起債を活用するなど事業実施に係る財源確保を行った。修繕延長が減った理由としては、資材の物価高騰や人件費の増加、工事内容が変更になりコストが増加したため、修繕延長が減少した。								
	事業実施にあたり工夫した点								
市道西田中蓮池線等整備費	44,506 [98.9]	55,204 [100.0]	市道西田中蓮池線等の整備延長（m）						
			66	66	○				
事業の有効性の評価	歩道が未整備であり、常に歩行者が危険に晒されているため、市道西田中蓮池線の水路を改修し歩道整備を行うことにより、道路利用者の安全と快適な交通環境を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市道西田中蓮池線の整備にあたっては、設計段階から事業費の削減を図りつつ、事業効果を最大限高めることに務めた。また、補助金を活用するなど事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
橋梁維持費	39,526 [39.5]	103,499 [99.2]	点検の実施橋梁数（橋）			修繕計画に基づく修繕橋梁数（橋）			
			0	0	—	1	1	○	
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化を図った。また、補助金を活用する等事業実施に係る財源確保を行った。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。								
	事業実施にあたり工夫した点								
事業の有効性の評価	点検に基づいて、橋梁の計画的な修繕を実施することにより、整備コストの削減・平準化								

令和 6 年 度 行 政 評 価 （ 令 和 5 年 度 対 象 ） シ ー ト

- 近年の節水傾向や今後見込まれる人口の減少により、一世帯あたりの料金収入が減少し、下水道経営が圧迫されることが懸念される。下水道事業のサービスを将来にわたって安定的に供給するため、企業会計化により明確となる、損益情報やストック情報を的確に把握し、経営の効率化・健全化を推進する必要がある。
- あわせて、令和元年度に改定した下水道事業中期経営戦略に基づき、適切な進捗管理や実績と計画との乖離検証を行うことで、経営基盤強化や、財政マネジメントの向上を図る。
- 清須市給水区域における配水管の耐震化を進めるため、引き続き春日地区配水管路等耐震化計画に基づき、重要給水施設の配水管の耐震化整備を実施していく。

令和6年度行政評価（令和5年度対象）シート

政策 4 便利で快適に暮らせるまちをつくる

施策 404 水辺空間と緑地の充実

主担当課：都市計画課

○施策の目指す姿

市民協働による河川環境美化や都市緑化が進展し、市民が水と緑を感じ、ふれあうことができる空間が形成されています。

○施策の展開

- 1 公園・緑地の整備・管理

2 遊具施設等の整備

3 水辺の散策路の管理

4 河川環境美化活動への支援

5 かわまちづくり事業の推進

6 清須アダプト・プログラムの実施
- 7 都市緑化への支援

○令和6年度 事務事業評価実施事業（令和5年度対象）

- 1 都市公園費

2 河川環境美化推進協議会補助金
- 3 アダプト・プログラム費

4 都市緑化推進事業補助金

I 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

○施策の関連データ

遊具改築更新を実施した公園数・施設数（公園・基）※清須市調べ	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	5・18	13・19	4・12	9・17	8・14
都市公園面積（㎡）※清須市調べ（各年3月31日）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	259,714	260,723	261,727	261,727	261,727

○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 平成23年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づいて都市公園の改築更新を行っており、当初の計画より若干の遅れがあるものの、内容を精査しながら毎年、5～8公園、10～20施設程度の遊具の改築更新を実施している。
- 令和3年度に公園施設長寿命化計画を改定し、令和4年度から令和13年度までの10年間の計画で、全63公園中51公園の老朽化した遊具の改築更新を実施していく。
- 令和5年度までに、全都市公園63公園中57公園において、計画対象遊具231基中199基を実施した。

II 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る（見込含む）・・・◎、目標値を達成（見込含む）・・・○、目標値を達成できず（達成困難の見込）・・・▲、現状値を把握していない・・・

達成度指標	基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
市民満足度調査における満足度	30.0% （平成30年度）	↑ （令和5年度）	30.4% （令和3年度）	—	25.0% （令和5年度）	▲
市内に良好な水辺空間が保たれている と思う市民の割合	35.8% （平成30年度）	↑ （令和5年度）	38.5% （令和3年度）	—	35.7% （令和5年度）	▲
都市公園の面積	259,714㎡ （平成30年度末）	264,000㎡ （令和6年度末）	261,727㎡ （令和3年度末）	261,727㎡ （令和4年度末）	261,727㎡ （令和5年度末）	▲
後期計画期間の 達成状況の分析	■ 市民満足度調査における満足度について、「満足している」「やや満足している」と回答した方の割合が25.0%（対前回調査マイナス5.4ポイント）と減少している。 ■ 市内に良好な水辺空間が保たれていると思う市民の割合について、前回調査と比較して2.8ポイント減少している。河川環境の改善や周辺環境の整備を求める市民の意見が多く、今後市民協働を含めた市の取り組みが課題である。 ■ 都市公園の面積について、令和3年度は松本公園の整備が完了した。令和5年度に清洲駅前土地区画整理事業に伴う公園実施設計を行い、令和7年度着工予定である。					

III 令和5年度の主な取組結果

- 【都市公園費】
- 都市公園63か所を適正に管理。
- 都市公園8か所、14施設の遊具の改築更新を実施。
都市緑化推進事業の補助金を活用し、市民参加緑づくり事業1件（春日中学校花壇整備）、緑の街並み推進事業2件（空地緑化）に対して補助金を交付。
- 【アダプト・プログラム費】
- 都市公園、街路の植樹帯等において、参加団体による花苗、チューリップの植栽、除草活動を実施した。

IV 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名	決算額（千円） [執行率（％）]		活動指標①			活動指標②		
	令和4年度	令和5年度	R5目標値	R5実績値と達成状況		R5目標値	R5実績値と達成状況	
都市公園費	124, 169 [100. 0]	169, 024 [99. 8]	遊具施設等の更新改築実施公園数（公園）					
			8	8	○			
事業の有効性の評価	公園長寿命化計画に基づいて、計画的な遊具の更新を進めるとともに、公園の適正な管理を行うことにより、市民が安心して利用することができる憩いの場を提供することができる。また、公園の整備により、市民の余暇活動に寄与することができる。							
事業実施にあたり工夫した点	地元のコミュニティ組織（ブロック）と連携し、都市公園の清掃業務を実施し、業務の効率化を図った。							
河川環境美化推進協議会補助金	1, 500 [100. 0]	1, 500 [100. 0]	河川環境美化デーの参加者数（人）					
			5, 400	3, 333	▲			
事業の有効性の評価	河川環境美化活動を実施することにより、庄内川・新川・五条川の環境保全が保持される。							
事業実施にあたり工夫した点	新型コロナウイルス感染症後、春・秋季通じて2回/年の実施をすることが出来た。新川小橋耐震工事の影響で橋の右岸上流の花壇に草が繁茂していたが、美化ボランティアにより除草を実施した。							
アダプト・プログラム費	1, 364 [96. 5]	1, 465 [98. 7]	アダプト・プログラムの実施団体数（団体）			アダプト・プログラムの実施面積（㎡）		
			20	24	◎	1, 380	1, 398	○
事業の有効性の評価	市から花苗や球根等の提供を受けて、地域の団体などの単位で、市民が協力して道路・公園等の清掃や植栽等に関わることで、市民の環境美化に対する意識を高めるとともに、地域の中での市民同士の交流を促進することができる。							
事業実施にあたり工夫した点	広報誌及び地域活動を行っている団体等に対して声かけなどのPRを実施した。							
都市緑化推進事業補助金	3, 388 [100. 0]	4, 901 [98. 0]	市民参加緑づくり事業に対する補助件数（件）			緑の街並み推進事業に対する補助件数（件）		
			1	1	○	1	2	◎
事業の有効性の評価	市民参加緑づくり事業実施により、市民の緑化推進への理解の向上が図られた。							
事業実施にあたり工夫した点	緑の町並み推進事業の募集については、ホームページへの掲載や広報誌へ複数回掲載して募集を行った。							

V 施策の評価と今後の方向性

- 平成23年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、国庫補助金を活用して都市公園の遊具改築更新を実施している。現計画は令和4年度から令和14年度までの10年間としており引き続き本計画に基づき、都市公園の遊具改築更新を実施する。
- 都市緑化推進事業補助金（緑の街並み推進事業）については、事業実施する市民を広報等で募集するとともに窓口にて本事業の制度についての周知に努める。
- 既存のアダプト・プログラム参加団体は高齢化が進み、活動を継続することが年々困難な状況となっている。そのため、団体の存続及び団体活動を継続するためにも引き続き広報誌等での呼びかけを実施し、参加者の勧誘及び団体育成を図っていく必要がある。

令和 6 年 度 行 政 評 価 （ 令 和 5 年 度 対 象 ） シ ー ト

政策 4 便利で快適に暮らせるまちをつくる
施策 405 公共交通の充実

施策 405 公共交通の充実 **主担当課：企画政策課**
○施策の目指す姿

○施策の目指す姿

「あしがるバス」を中心とした公共交通網が充実し、市内移動の利便性が向上しています。

○施策の展開

- 1 コミュニティバスの運行
- 2 各種イベント等を通じた利用促進
- 3 利用環境整備の推進
- 4 ルート・ダイヤ等の見直し
- 5 福祉有償運送制度の運用

- 1 コミュニティバスの運行
- 2 各種イベント等を通じた利用促進
- 3 利用環境整備の推進
- 4 ルート・ダイヤ等の見直し
- 5 福祉有償運送制度の運用

○令和6年度 事務事業評価実施事業（令和5年度対象）
1 コミュニティバス運行費

- 1 コミュニティバス運行費

Ⅰ 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

○施策の関連データ					
「あしがるバス」の利用者数 (人) ※清須市調べ	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	82,609	64,954	70,263	76,035	86,587

「あしがるバス」の利用者数 (人) ※清須市調べ	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	82,609	64,954	70,263	76,035	86,587

○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 平成18年10月に運行を開始したコミュニティバス「あしがるバス」は、本市の公共交通の核として、日中の市内移動の利便性向上に重要な役割を果たしている。
- 平成30年10月から「ブルールート」を新設するとともに、既存ルートの増便、乗り換えしやすいダイヤの設定、パターンダイヤの導入を行った。
- 令和2年3月に策定した「清須市地域公共交通計画」に基づき、ルート・ダイヤの最適化に向けて、令和2年11月から12月にかけて「公共交通に関する市民アンケート調査等」を実施し、市民ニーズ及び実際の乗車状況の把握に努めた。
- 令和4年10月にルート・ダイヤ改正を施行し、運行ルートの単純化、ブルールート帰宅便の導入など利便性の向上を図った。

II 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る（見込含む）…◎、目標値を達成（見込含む）…○、目標値を達成できず（達成困難の見込）…▲、現状値を把握していない…ー

達成度指標	基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
市民満足度調査における満足度	30.4% (平成30年度)	↗ (令和5年度)	29.1% (令和3年度)	—	21.7% (令和5年度)	▲
「あしがるバス」を利用したことがある市民の割合	16.0% (平成30年度)	↗ (令和5年度)	18.0% (令和3年度)	—	27.9% (令和5年度)	◎
「あしがるバス」を知っている市民の割合	97.9% (平成30年度)	→ (令和5年度)	97.1% (令和3年度)	—	98.2% (令和5年度)	○
「あしがるバス」の1便あたりの利用者数	5.6人 (平成30年度)	6.5人 (令和6年度)	4.5人 (令和3年度)	4.8人 (令和4年度)	5.4人 (令和5年度)	▲

後期計画期間の 達成状況の分析	■「あしがるバス」を利用したことがある市民の割合は9.9ポイント上昇しており、また「あしがるバス」の令和5年度の利用者数は、過去最多であることから「あしがるバス」が市民の生活に定着しつつある。それに伴って、もっと利用したいと考える者からのさらなる期待が満足度の低下という形で表れたと推察する。
--------------------	---

Ⅲ 令和5年度の主な取組結果

【コミュニティバス運行費】

- 令和7年度を始期とする次期地域公共交通計画の策定に向けて、令和5年11月に「公共交通に関する市民アンケート調査等」を実施し、地域課題や移動実態の把握に努めた。
- 利用促進施策として、バス乗り方教室、一日無料デー及びさくらまつりでのPR活動を継続して実施するとともに、乗り方チラシを作成し、主な利用者である高齢者に向けて乗り方の周知を図った。

IV 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る…◎、目標値を達成…○、目標値を下回る…▲

事業名	決算額（千円） 〔執行率（％）〕		活動指標①			活動指標②		
	令和4年度	令和5年度	R5目標値	R5実績値と達成状況		R5目標値	R5実績値と達成状況	
コミュニティバス運行費	76,764 [95.1]	80,111 [96.4]	あしがるバスの利用者数（人）			利用促進イベントの実施回数（回）		
			97,500	86,587	▲	3	3	○
事業の有効性の評価	「あしがるバス」を運行することにより、高齢者や主婦層等の日中における市内移動の利便性が向上している。							
事業実施にあたり工夫した点	主な利用者である高齢者に向けて、バスの乗り方チラシを作成するとともに、寿会役員会で会員全員への配布を依頼し、乗り方の周知を図った。							

V 施策の評価と今後の方向性

- これまで継続して実施してきたバスの乗り方の周知や利用促進活動の効果もあり、「あしがるバス」の利用者数が増加傾向にある。多くの方に今後も利用していただけるようバスの乗り方の周知や利用促進活動を継続するとともに、一定期間ごとに実施しているルート・ダイヤ等の改正により利便性の高い運行を検討していく。
- 市全体の公共交通に関し、令和6年度に清須市地域公共交通計画の計画期間が満了を迎えるにあたり、令和5年度に実施した「公共交通に関する市民アンケート調査等」の結果を踏まえ、地域公共交通を持続的なものとし、更なる利便性向上に向けた次期地域公共交通計画を策定していく。

令和6年度行政評価（令和5年度対象）シート

政策 4 便利で快適に暮らせるまちをつくる

施策 406 ごみの減量化と資源化の推進

主担当課：生活環境課

○施策の目指す姿

市民・事業者・行政が一体となったごみの減量化と資源化の取組がより一層浸透し、循環型社会が構築されています。

○施策の展開

- 1 ごみの適正な処理
- 2 ごみ減量化・再資源化の啓発
- 3 市民に分かりやすいごみの分別情報等の発言
- 4 資源回収活動への支援
- 5 ごみ減量化活動への支援
- 6 資源回収施設の管理・運営
- 7 し尿の適正な処理

○令和6年度 事務事業評価実施事業（令和5年度対象）

- 1 ごみ収集処理費
- 2 資源回収費
- 3 ごみ減量化推進費
- 4 五条広域事務組合清掃処理負担金

I 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

○施策の関連データ

市民1人1日あたりの生活系ごみ排出量（g）※一般廃棄物処理事業実態調査	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	612	613	616	604	589
リサイクル率（ごみの資源化量／ごみの排出量）※一般廃棄物処理事業実態調査	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	14.5	13.6	13.2	12.6	12.2

○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 一般廃棄物及び生活排水を適正に処理するための基本事項を定めた「清須市一般廃棄物処理基本計画」と、容器包装廃棄物の最終処分量の削減等を図るために取り組むべき方針を示した「清須市分別収集計画」に基づき、ごみの減量化及び資源化を推進している。
- 限りある資源の有効活用を図るため、引き続きごみに対する市民の意識改革を図るほか、官民一体となってリサイクルシステムなどを確立することで、ごみの減量化と資源としての再利用を推進する必要がある。
- スマートフォンやタブレット端末でごみの分別方法や収集日を確認できる「ごみ分別アプリ さんあーる」の配信を平成29年度から開始した。
- 衛生的で快適な生活環境を確保するため、広域的な連携によるし尿処理施設の運営等により、適切なし尿処理に取り組んでいる。ゴミの減量化を目的として、令和4年度から指定ごみ袋の厚みを一部変更した。

II 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る（見込含む）・・・◎、目標値を達成（見込含む）・・・○、目標値を達成できず（達成困難の見込）・・・▲、現状値を把握していない・・・

達成度指標		基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成見込
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
市民満足度調査における満足度		38.0% （平成30年度）	↑ （令和5年度）	37.0% （令和3年度）	－	31.9% （令和5年度）	▲
市民1人1日あたりの生活系ごみ排出量		613g （平成29年度）	529g （令和6年度）	616g （令和2年度）	604g （令和3年度）	589g （令和4年度）	▲
リサイクル率（ごみの資源化量／ごみの排出量）		15.1% （平成29年度）	→ （令和6年度）	13.2% （令和2年度）	12.6% （令和3年度）	12.2% （令和4年度）	▲
後期計画期間の 達成状況の分析		■ 令和5年度は、令和4年度より「市民1人1日あたりの生活系ごみ排出量」前年比可燃ゴミ約4.4％、不燃ごみ約5.3％減少している。一方、プラスチック容器包装、粗大ゴミについては、排出量に大きな変化はなかった。 物の価格が高騰しているため、必要な物を必要な量を購入する事により廃棄する量が減少していると考えられる。 ■ 資源物においても排出量が約6.5％減少している。鉄くずを除く資源物全てにおいて、回収量が減少している。 古紙の排出量の減少は、民間事業者が設置する資源回収ステーションの増加を受け、いつでも排出できる民間事業者で回収されているため行政による回収量は減少傾向にある。資源物の回収量の減少が、ゴミ全体の排出量の減少を上回った結果「リサイクル率（ごみの資源化量/ごみの排出量）」は減少となっていると考えられる。					

III 令和5年度の主な取組結果

- 【ごみ収集処理費】
- 家庭系可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチック製容器包装、粗大ごみ等の収集・運搬・処分を適正に実施した。
- ごみ分別促進アプリ「さんあーる」のアクセス件数は配信開始後最高値であった令和4年より微増した。
【資源回収費】
- 新川・西枇杷島・清洲・春日資源ステーションを管理・運営した。
- 登録団体に対する古紙、布及びアルミ缶回収報奨金の交付、市内50ブロックに対する資源ごみ分別収集事業報奨金の交付を実施した。
【ごみ減量化推進費】
- ごみ減量化等推進委員会を年間で計5回開催した。
- 市内小学校3校（清洲東小・清洲小・星の宮小）の4年生を対象として環境学習出前講座を開催した。
- 電動生ごみ処理機、生ごみ処理容器、ダンボールコンポストの購入に対する補助金の交付を実施した。

IV 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名	決算額（千円） [執行率（％）]		活動指標①			活動指標②		
	令和4年度	令和5年度	R5目標値	R5実績値と達成状況		R5目標値	R5実績値と達成状況	
ごみ収集処理費	962,115 [97.0]	940,786 [96.3]	家庭ごみ（可燃・不燃・プラスチック・粗大）の収集量（t）			ごみ分別アプリ「さんあーる」のアクセス件数（件）		
			13,398	12,629	○	69,672	34,302	▲
事業の有効性の評価	一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民の利便性向上や処理コスト削減に努めながら、家庭及び事業所から排出されるごみの収集、運搬及び処分を適正に行うことにより、生活環境の保全を図ることができる。また、啓発活動の実施や、市民に分かりやすいごみの分別市民1人1日あたりの生活系ごみ排出情報等を発信することにより、ごみの分別の徹底等、市民や事業者のごみ減量化・再資源化に対する意識を高めることができる。							
事業実施にあたり工夫した点	事業所から排出される不適切な家庭系指定ごみ袋について、適切な排出を行うよう適宜指導を実施した。粗大ごみのインターネット予約を推奨し、市民の利便性向上を図った。							
資源回収費	83,415 [99.7]	83,377 [94.4]	資源の収集量（t）			資源回収活動団体の資源回収量（t）		
			1,162	1,094	▲	459	446	▲
事業の有効性の評価	市が運営する資源回収ステーション等において収集した資源の分別、運搬及び処分を行うとともに、資源の分別収集に協力するブロックや、資源回収活動を行う団体に対して支援を行うことにより、ごみ減量化・再資源化を推進することができる。							
事業実施にあたり工夫した点	近年追加してきた新リサイクル品目の収集を継続し、ごみ減量化・再資源化を推進した。また、資源回収活動を行うブロック・団体に対して、報奨金交付要綱に基づいて、適正に報奨金を交付した。飲料系メーカーとペットボトルの水平リサイクルについて協定を締結し、循環型社会形成に向けた取組を引き続き実施した。							
ごみ減量化推進費	872 [91.5]	404 [95.3]	環境学習出前講座の開催回数（回）			生ごみ処理機等購入に対する補助件数（件）		
			3	3	○	331	98	▲
事業の有効性の評価	市民が参加するリサイクル活動の実施により、市民や事業者のごみ減量化・再資源化に対する意識を高めることができる。また、生ごみ処理機等の購入に係る費用の一部を補助することにより、生ごみの自家処理による減量化及び生活環境の向上を図ることができる。							
事業実施にあたり工夫した点	環境学習出前講座の資料を見直し改善することでより分かりやすい講座の実施に努めた。生ごみ処理機等購入に対する補助制度の周知を行い、効率的な事業実施に努めた。							
五条広域事務組合清掃 処理負担金	214,430 [100.0]	286,755 [100.0]	し尿・浄化槽汚泥の搬入量（t）					
			29,896	32,273	▲			
事業の有効性の評価	し尿を適切に処理することにより、良好な生活環境の保全及び公衆衛生の保持に寄与する。							
事業実施にあたり工夫した点	組合を組織するあま市と連携を図りながら、汚泥再生センターの効率的な管理運営に努めた。							

V 施策の評価と今後の方向性

- 「清須市環境ガイドブック」配布をはじめとして、様々な方面からごみの減量化・再資源化を促進するための啓発活動を実施している。市民からの意見も参考に環境ガイドブックの内容を見直し、改定「清須市環境ガイドブック」を配布することにより市民や事業者に対してのごみに対する意識啓発を図った。
- ごみ分別アプリについては、一時落ち込んだアクセス件数が再度堅調に増加している。今後も使いやすさの向上に取り組んでいく。
- 令和4年度にはペットボトルの水平リサイクルについて飲料メーカーとの協定を行い、令和5年3月には株式会社ジモティーと協定を締結し、粗大ごみ等のリユース啓発を開始した。今後も資源物の回収方法や回収後の再資源化方法について、民間事業者との協力も視野に入れ、更なる資源化の推進を図っていく。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響から抜け出し、家庭系ごみの排出量は減少傾向に転じている。更なるごみの減量化を目指し、不適切な排出や不法投棄等に収集運搬業者と連絡を密に取ることで対応していくとともに、より効率的な収集体制の在り方にいても検討することで、清潔で住みよいまちづくりの推進に努める。

令和 6 年 度 行 政 評 価 （ 令 和 5 年 度 対 象 ） シ ー ト

政策 4 便利で快適に暮らせるまちをつくる

施策 407 環境保全の推進

○施策の目指す姿

環境の保全や公害の未然防止が図られ、市民にとって良好な生活環境が保たれています。

○施策の展開

- 1 地域環境の保全
- 2 公害調査等の実施
- 3 浄化槽清掃への支援
- 4 住宅用地球温暖化対策設備の導入への支援
- 5 環境負荷低減対策の実施
- 6 墓地の管理・運営

○令和6年度 事務事業評価実施事業（令和5年度対象）

- 1 浄化槽清掃費補助金
2 住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金

Ⅰ 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

○施策の関連データ

太陽光発電システムの補助件数 (件) ※清須市調べ	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	13	16	17	21	26
太陽光発電システムの設置容量 〔うち補助対象容量〕 (KW) ※清須市調べ	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	63.95 [50.20]	79.37 [53.77]	78.73 [65.49]	116.3 [77.8]	141.55 [77.6]

○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 公共下水道の供用開始区域拡大に伴い、浄化槽清掃に対する補助件数は年々減少傾向にあったが、下水道整備進捗率の鈍化や令和2年4月の浄化槽法改正による清掃件数の増加に伴い、補助件数も増加している。
- 太陽光発電システムについては、平成30年度から令和元年度にかけて太陽光パネルの単体補助が廃止となり、補助件数が減少したが、太陽光パネルの単体補助の廃止に代わって、住宅のスマートハウス化を推進するために、家庭用エネルギー管理システム等との組み合わせ補助を開始し、より環境に配慮した補助内容になっている。また、令和4年度にZEHの補助メニューを追加したことでより補助件数が増加した。

II 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る（見込含む）…◎、目標値を達成（見込含む）…○、目標値を達成できず（達成困難の見込）…▲、現状値を把握していない…ー

達成度指標	基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成見込
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
市民満足度調査における満足度	26.9% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	29.5% (令和3年度)	—	19.3% (令和5年度)	▲
環境負荷の低減を心がけている市民の割合	63.6% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	57.8% (令和3年度)	—	56.1% (令和5年度)	▲
市内の公害発生件数	0件 (平成30年度)	0件 (令和6年度)	0件 (令和3年度)	0件 (令和4年度)	0件 (令和5年度)	○
市の行政事務に係る温室効果ガス総排出量	735,851Kg-CO2 (平成27年度)	637,000Kg-CO2 (令和6年度)	591,156Kg-CO2 (令和3年度)	649,998Kg-CO2 (令和4年度)	736,292Kg-CO2 (令和5年度)	▲
後期計画期間の 達成状況の分析	■ 基準値を超えた公害発生件数は0件であった。 ■ 苦情件数については97件あり、その内訳としては騒音・振動17件、悪臭80件（うち、あま市の臭気発生施設は77件）、また水質汚濁の通報は3件であった。苦情については、現地調査を行い、対応済みである。悪臭の一部については、現地を確認し臭気発生施設のあるあま市に状況を報告し、改善依頼をその都度行っている。					

Ⅲ 令和5年度の主な取組結果

- 【浄化槽清掃費補助金】
家庭用浄化槽の清掃に対する補助（清掃費の4割、年1回）を実施した。
- 【住宅用地球温暖化対策設備費補助金】
住宅用太陽光発電システム、HEMS、蓄電池、燃料電池、V2H、ZEHの設置に対する補助を実施した。
- 【公害対策費】
水質調査を市内3河川及び水路等で実施した。
- 臭気測定を計8回実施した。（2事業所を各1回、愛知化製協業組合関係を6回）騒音測定を1回行った。
- 自動車騒音調査（一般国道302号・給父西枇杷島線・助七西田中線）を実施した。
- 【新川墓地管理費】
新川墓地962区画を適正に管理した。（利用中は795区画）

IV 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る…◎、目標値を達成…○、目標値を下回る…▲

[illegible]

V 施策の評価と今後の方向性

- 浄化槽清掃補助金については、公共下水道の供用開始区域拡大や補助金要綱の一部改正に伴い、申請件数が減少し、事業の縮小が見込まれるが、当局独自の施策として、予算化し、継続的に実施していく。
- 住宅用地低温暖化対策設備設置費補助金については、新築家屋の建築や太陽光発電システム既設置住宅において、災害時等緊急時に備えや環境意識の向上により蓄電池の設置の増加が見込まれることから、積極的に住宅のスマートハウス化の補助制度の周知を図り、今後も更なる環境に配慮した設備設置を推進していく。

令和 6 年 度 行 政 評 価 （ 令 和 5 年 度 対 象 ） シ ー ト

- 五条広域事務組合及びあま市と連携し、斎場の運営を行っていく。